

平成25年度

# 市民委員会資料

- 1 事業概要
- 2 別紙 平成25年度の主な事業及び予算
- 3 川崎港便覧
- 4 P o r t o f K A W A S A K I

平成25年4月

川崎市港湾局

An aerial photograph of Kawasaki City, Japan, showing the Sagami River and surrounding urban and industrial areas. Mount Fuji is visible in the distance under a clear blue sky. The title '事業概要' is overlaid in large white characters with a blue outline.

# 事業概要

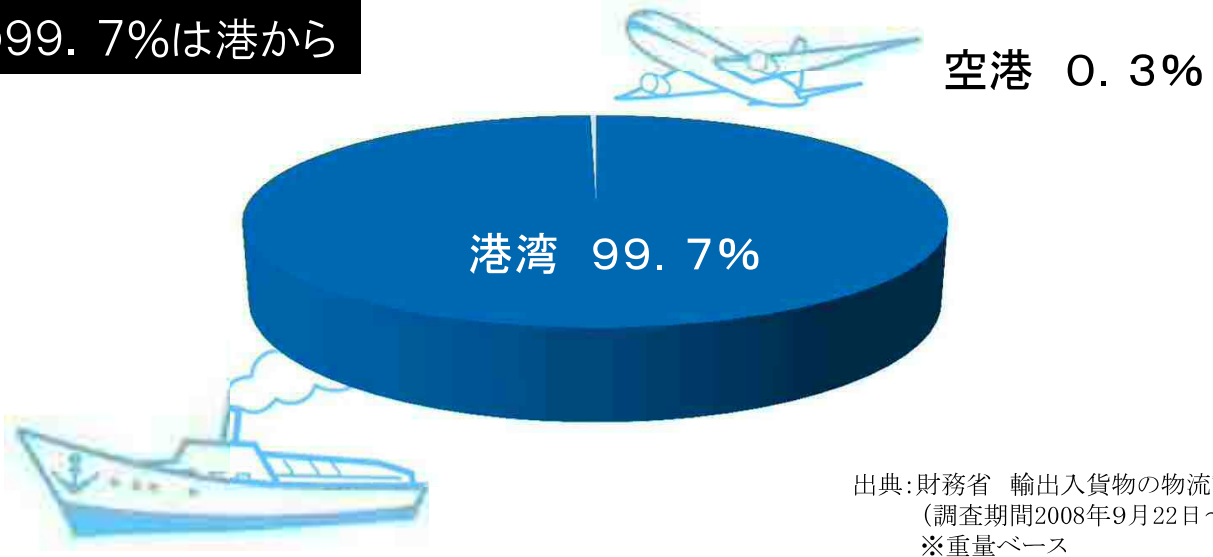
平成25年 4月

川崎市 港湾局

# 港の役割

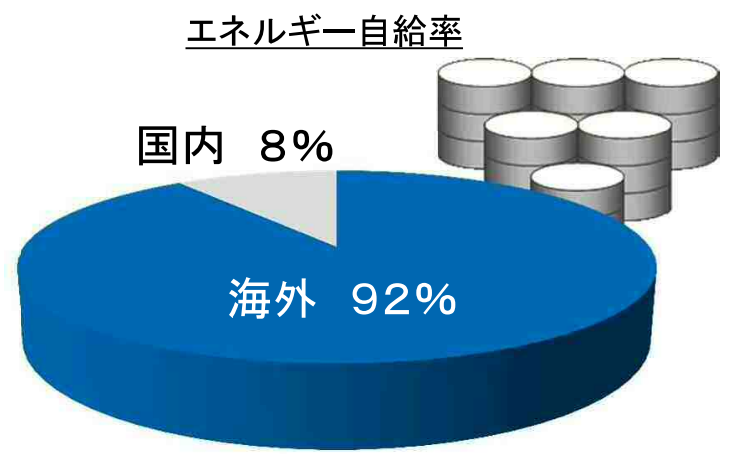


輸出入貨物の99.7%は港から



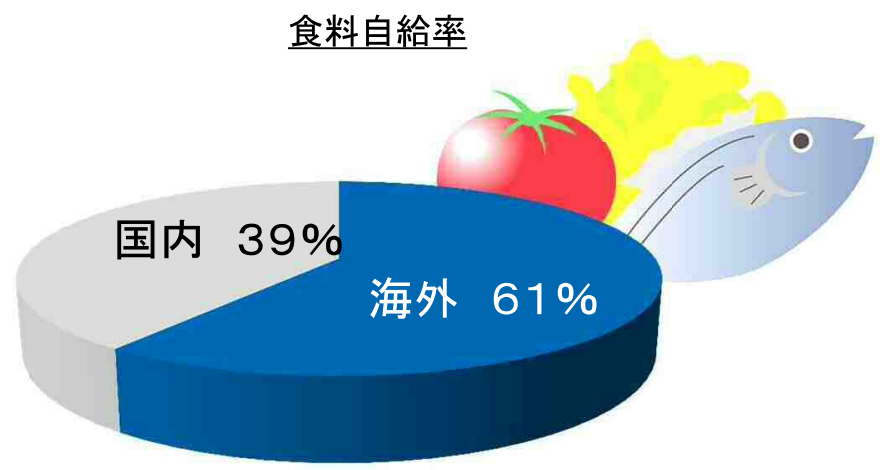
出典:財務省 輸出入貨物の物流動向調査より  
(調査期間2008年9月22日~9月28日)  
※重量ベース

エネルギーの92%が海外から



出典:資源エネルギー庁  
「2011年度エネルギーバランス表(速報)」 ※熱量ベース

食料の60%は海外から



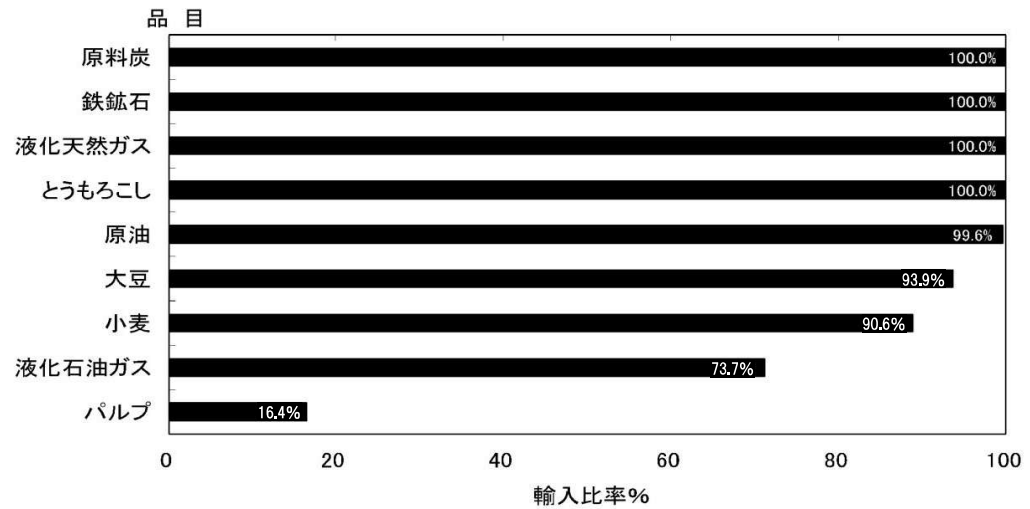
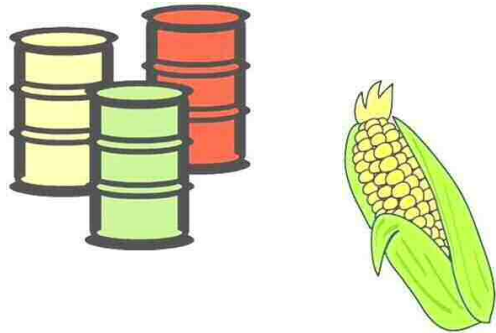
出典:農林水産省「食料需給表(平成23年度版)概要」  
※熱量ベース

# 港の役割



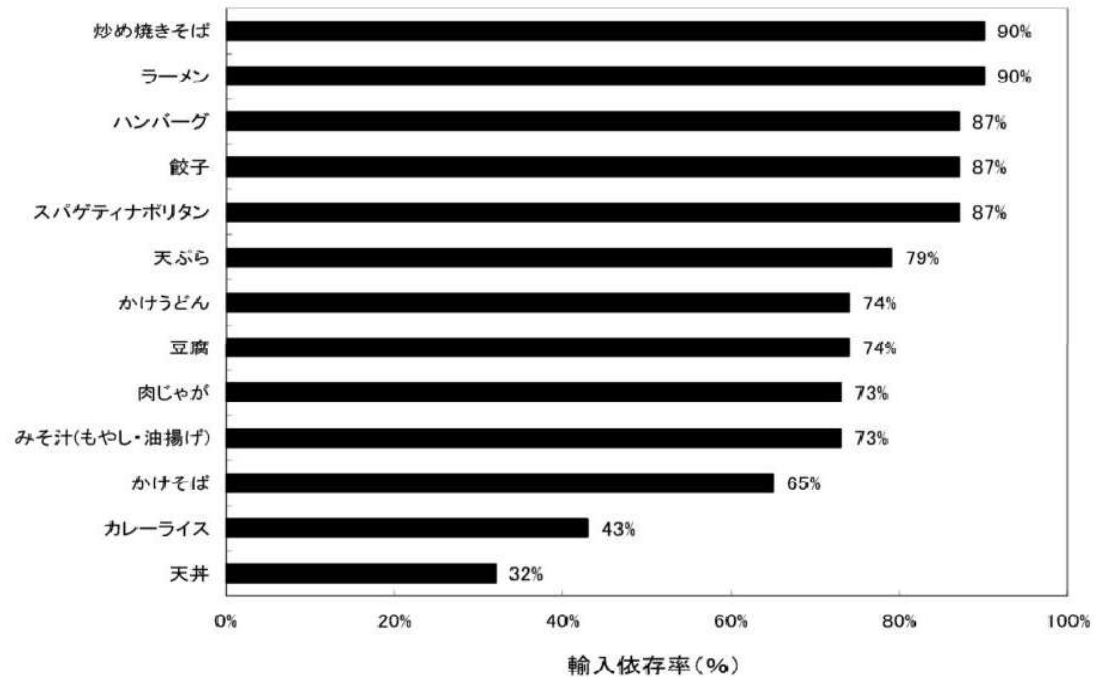
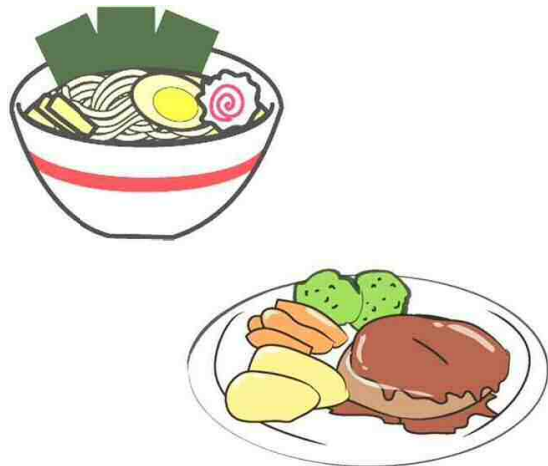
## 海外に依存する原材料

主要商品の輸入比率（重量ベース）



## 日常生活と港湾

献立の素材が輸入されている割合



出典：経済産業省「エネルギーバランス表(2010年度)  
農林水産省総合食料局「食料需給表 平成22年度」他

# 日本の港湾

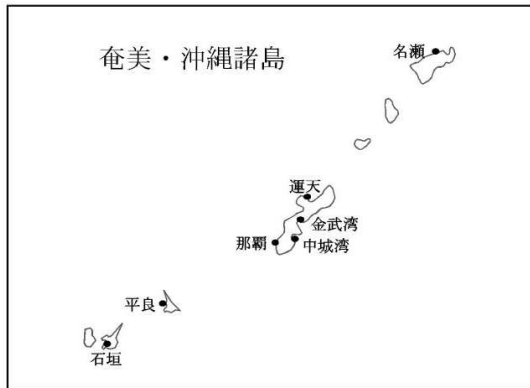


(2012年4月1日現在)

区分	総数	港湾管理者					都道府県知事
		都道府県	市町村	港務局	一部事務組合	計	
国際戦略港湾	5	1	4	0	0	5	—
国際拠点港湾	18	11	4	0	3	18	—
重要港湾	103	83	16	1	3	103	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
地方港湾	809	505	304	0	0	809	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
計	935	600	328	1	6	935	—
56条港湾	61	—	—	—	—	—	61
合計	996	600	328	1	6	935	61

出典：国土交通省港湾局総務課調べ。

(注) 東京都の洞輪沢港は避難港指定を受けているが、管理者未設定であり、かつ56条港湾ではないので本表より除く。  
 (注) 漁港は含まない



- 国際戦略港湾 (5港)
- ◎ 国際拠点港湾 (18港)
- 重要港湾 (103港)



**川崎港は国際戦略港湾**

**【国際戦略港湾とは】**  
 国際戦略港湾は、国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港が指定されています。

# 川崎港の位置



■ 主な高速道路（インターチェンジ間）の距離

起点インターチェンジ	終点インターチェンジ	距離
東扇島 (川崎港) から	宇都宮(栃木県)まで	158.2km
	前橋(群馬県)まで	147.2km
	水戸(茨城県)まで	129.2km
	甲府昭和(山梨県)まで	152.7km
	湾岸千葉(千葉県)まで	74.3km
	大井南(東京都)まで	14.3km
	本牧ふ頭(神奈川県)まで	11.1km

— 高速道路  
Expressway  
— 環状線  
Ring road  
     県境  
Prefectural Boundary

# 川崎港の取扱貨物



## 港湾取扱貨物量ランキング(2011年上位20港)

(単位:千トン)

順位	港湾名	総貨物量	輸出	輸入	内貿	
1	名古屋港	186,305	48,852	80,652	56,801	
2	千葉港	149,935	9,804	80,693	59,438	
3	横浜港	121,327	35,601	45,154	40,572	
4	北九州港	99,979	6,830	24,913	68,236	
5	苫小牧港	96,458	1,028	16,734	78,696	
6	水島港	89,264	8,477	45,746	35,041	
7	大阪港	88,095	9,301	27,876	50,918	
8	神戸港	87,017	22,196	27,097	37,724	
9	川崎港	86,738	7,495	50,762	28,481	
10	東京港	79,208	12,954	33,888	32,366	
11	堺泉北港	67,254	3,964	24,577	38,713	
12	四日市港	61,759	1,759	18,623	18,623	
13	徳山下松港	29,213		29,213	29,213	
14	和歌山港	16,735		16,735	16,735	
15	新大塚港	16,810		16,810	16,810	
16	伊豆大崎港	13,249	6,974	11,464	13,249	
17	三浦港	12,482	29,904	1,276	16,146	12,482
18	姫路港	13,454	31,799	1,315	17,030	13,454
19	仙崎港	22,191	25,155	672	2,292	22,191
20	清水港	5,656	15,832	3,830	6,346	5,656

川崎港の取扱貨物量は  
全国第9位

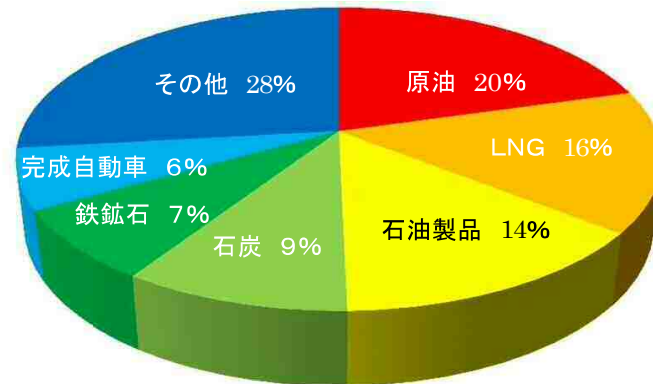
## 貿易額

### 輸出額 3年連続の増加・輸入額 3年ぶりに減少

輸出額 1兆2,897億11百万円 対前年比 103.2%

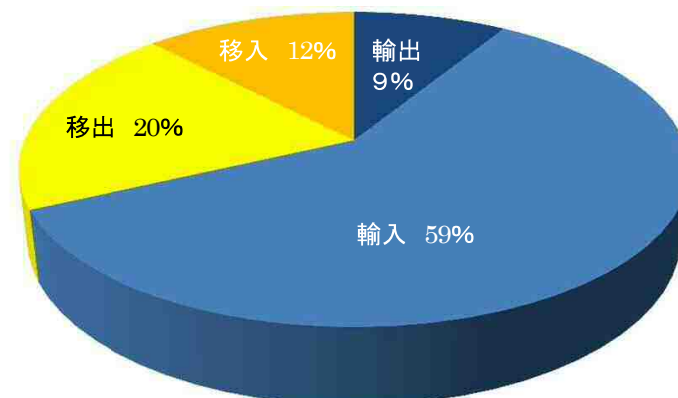
輸入額 2兆5,463億76百万円 対前年比 95.7%

## 取扱貨物の種類



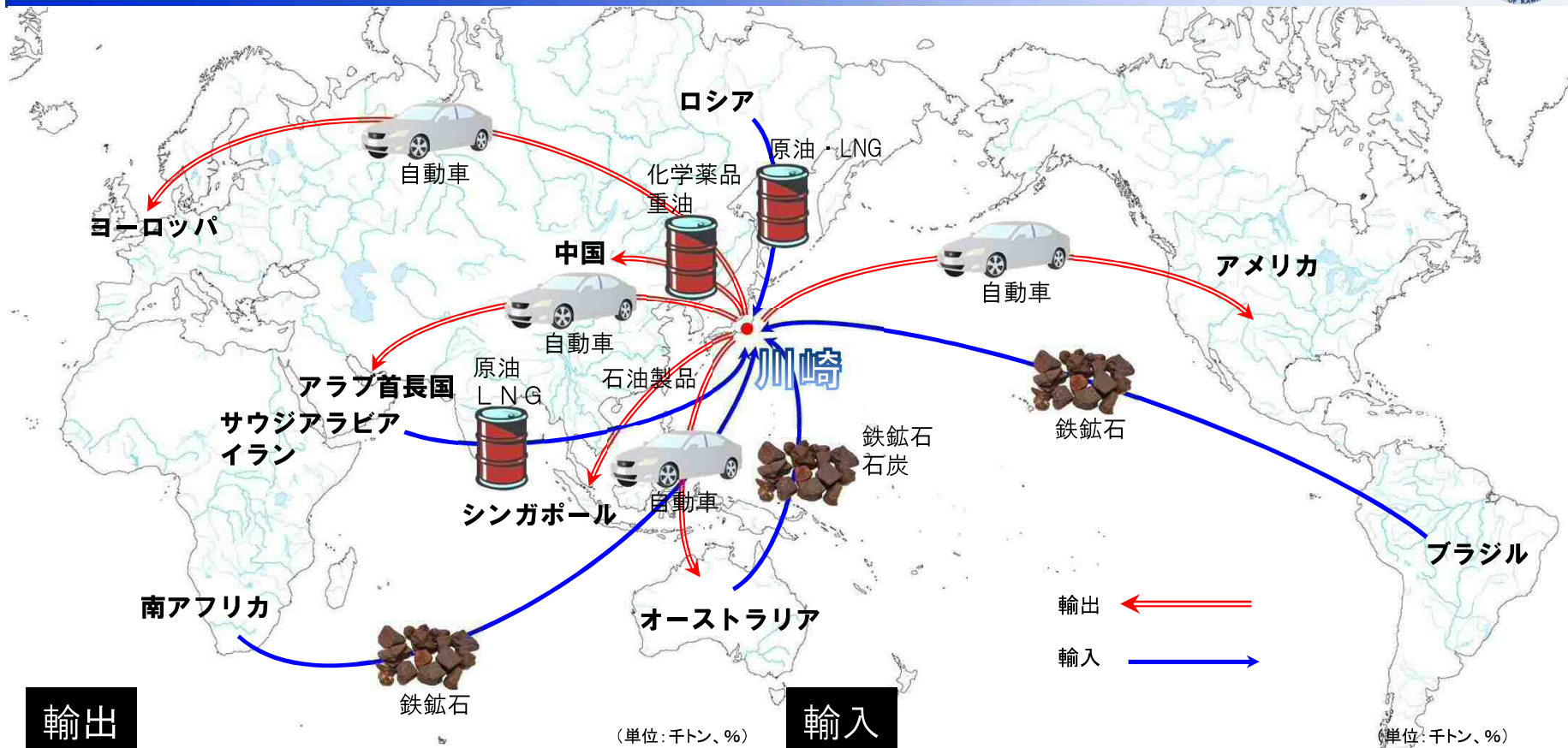
出典:川崎港統計年報(2011年)

## 出入貨物の割合



出典:川崎港統計年報(2011年)

# 川崎港と世界のむすびつき



## 輸出

(単位:千トン、%)

品種	2011年		主な輸出先		
	数量	構成比	1	2	3
完成自動車	2,990	39.9	アメリカ (45.0%)	アラブ首長国 (10.7%)	オーストラリア (6.6%)
石油製品	1,276	17.0	中国(香港) (27.1%)	オーストラリア (26.9%)	シンガポール (18.6%)
重油	1,106	14.8	中国 (54.1%)	シンガポール (17.4%)	中国(香港) (15.1%)
化学薬品	902	12.0	中国 (41.3%)	中国(台湾) (24.3%)	韓国 (24.3%)
金属くず	633	8.4	韓国 (65.3%)	中国 (34.1%)	オーストラリア (0.4%)
その他	588	7.8	-	-	-
総合計	7,495	100.0			

## 輸入

(単位:千トン、%)

品種	2011年		主な輸入先		
	数量	構成比	1	2	3
原油	17,441	34.4	アラブ首長国 (30.5%)	サウジアラビア (26.4%)	イラン (22.0%)
L N G	13,752	27.1	アラブ首長国 (43.5%)	オーストラリア (18.5%)	マレーシア (10.5%)
石炭	6,237	12.3	オーストラリア (65.5%)	インドネシア (13.5%)	ロシア (7.0%)
鉄鉱石	5,793	11.4	オーストラリア (53.0%)	ブラジル (30.2%)	フィリピン (7.2%)
石油製品	2,024	4.0	韓国 (43.3%)	インド (18.1%)	シンガポール (5.9%)
その他	5,515	10.9	-	-	-
総合計	50,762	100.0			



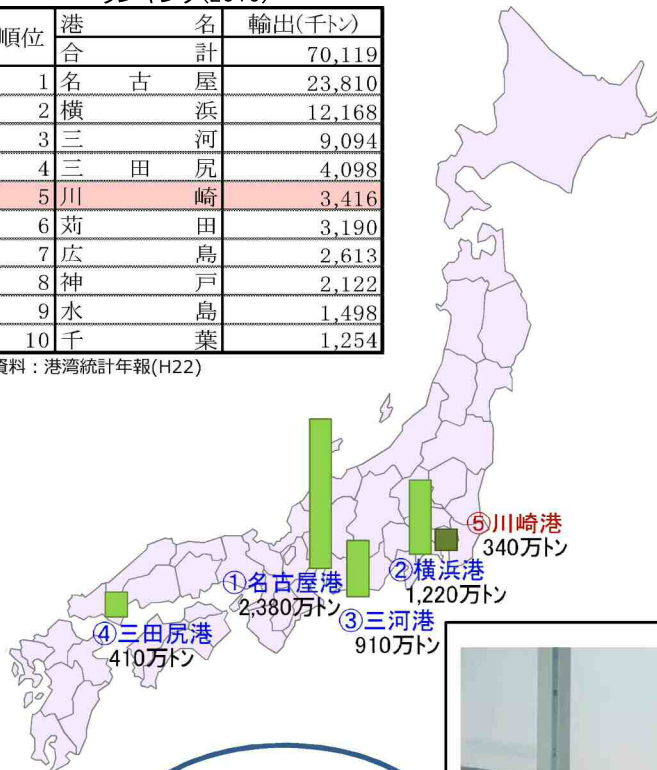


# 自動車輸出に強みのある川崎港

完成自動車輸出取扱量  
ランキング(2010)

順位	港名	輸出(千トン)
	合計	70,119
1	名古屋	23,810
2	横浜	12,168
3	三河	9,094
4	三田尻	4,098
5	川崎	3,416
6	荻田	3,190
7	広島	2,613
8	神戸	2,122
9	水島	1,498
10	千葉	1,254

資料：港湾統計年報(H22)



中古乗用車輸出台数・金額とその比率

順位	税関名	中古乗用車		乗用車		中古乗用車比率	
		数量(万台)	金額(億円)	数量(万台)	金額(億円)	数量	金額
	合計	70.0	3,527.0	465.0	69,300.0	15.1%	5.1%
1	名古屋	14.6	706.1	116.4	19,756.8	12.5%	3.6%
2	川崎	11.5	540.3	29.3	3,166.5	39.3%	17.1%
3	横浜	10.9	681.6	41.9	6,900.6	25.9%	9.9%
4	堺	8.9	549.3	8.9	549.3	100.0%	100.0%
5	神戸	8.5	353.4	9.7	466.6	88.5%	75.7%
6	富山	3.7	205.8	3.7	205.8	100.0%	100.0%
7	博多	2.6	75.7	12.7	2,589.0	20.9%	2.9%
8	伏木	1.5	85.0	1.5	90.7	98.7%	93.7%
9	新潟	1.3	58.4	1.3	58.4	100.0%	100.0%
10	千葉	0.9	27.8	11.4	1,486.8	8.2%	1.9%

注1：対象期間2011年1月～12月

注2：順位は中古乗用車輸出台数の多い順とした

資料：貿易統計（財務省）より作成

中古乗用車の  
輸出は  
全国第2位



千鳥町公共ふ頭（中古車のストックヤード）



東扇島公共ふ頭（岸壁からの自動車輸出）

# 東扇島総合物流拠点地区



- 川崎港コンテナターミナル背後地（約23ha）を「東扇島総合物流拠点地区」と位置付け、コンテナターミナルと近接している特色を最大限に活かした高機能物流拠点の形成を図っています。
- 平成19年度に公募を実施した第1期地区（12.6ha）では4企業が既に事業を開始しており、平成22年に公表を実施した第2期地区（9.9ha）の5企業についても今年度中に全ての企業が事業を開始します。

## 第1期地区進出企業

事業者：株式会社ヨコロジ  
 事業内容：中古自動車輸出  
 事業開始：平成21年7月  
 延床面積：約16,000㎡

事業者：株式会社ニチレイロジグループ本社  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成23年2月  
 延床面積：約36,000㎡

事業者：POSCO-JEPC株式会社  
 事業内容：鋼材の輸入・加工  
 事業開始：平成20年9月  
 延床面積：約13,000㎡

事業者：山九株式会社  
 事業内容：雑貨・食品等の輸出入・集配  
 事業開始：平成22年1月  
 延床面積：約110,000㎡

## 第2期地区進出企業

事業者：株式会社マルハニチロ物流  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始（予定）：平成26年2月  
 延床面積（予定）：約23,000㎡

事業者：山手冷蔵株式会社  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始（予定）：平成25年5月  
 延床面積（予定）：約20,000㎡

事業者：株式会社松岡  
 事業内容：冷凍食品等の輸入・集配  
 事業開始：平成25年2月  
 延床面積：約52,000㎡

事業者：日本郵便株式会社  
 事業内容：国際船便郵便物の取扱  
 事業開始（予定）：平成25年5月  
 延床面積（予定）：約55,000㎡

事業者：荒井商事株式会社  
 事業内容：中古自動車オークション・輸出  
 事業開始：平成23年4月  
 延床面積：約10,000㎡

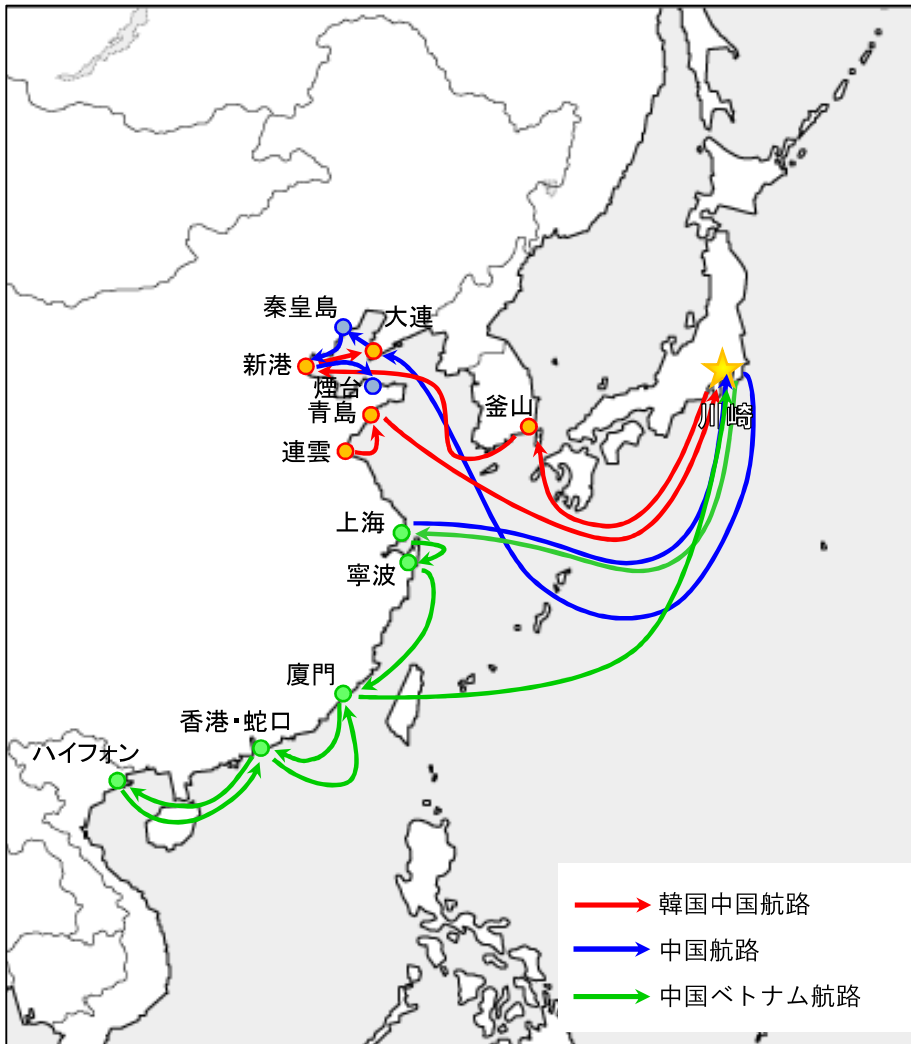


	第1期地区
	第2期地区

# 新規航路の開設



- 川崎港の振興、発展のため、国内外の荷主や船社に対して積極的な誘致活動を行っています。
- 平成24年5月及び10月、川崎港と韓国や中国を結ぶ航路が相次いで開設されました。
- さらに平成25年3月に、中国やベトナムを結ぶ航路が新規に開設されました。



(上) 青島港等を結ぶ新規コンテナ定期航路開設歓迎式典  
 (中) 上海等を結ぶ新規コンテナ定期航路開設歓迎式典  
 (S I T C安枝本部長に阿部市長より記念品を贈呈)  
 (下) 初入港船「ワーナウ・トラウト」

## 三港連携の目的と取組課題

目 的 : 京浜三港(東京港、川崎港、横浜港)の国際競争力の強化

取組課題 : (平成20年3月21日基本合意書)

① 港湾コスト低減による国際競争力の強化	④ 東京湾全体を視野に入れた合理的かつ効果的な、施設及び機能の配置
② 港湾利用手続きの統一化、簡素化による利便性の向上	⑤ 環境対策、水上交通網形成、震災対策など広域的課題への対応
③ 内貿振興、内陸部の物流体系を踏まえた国内ハブ機能の強化	⑥ 国制度の改善、国からの重点投資の確保

## これまでの取組

- [体 制] ●京浜港広域連携推進会議の設置 (平成20年9月)
- 京浜港連携協議会の設置 (平成21年12月)
- [ポートセールス] ●首長によるトップセールスの実施
- 京浜港利用促進セミナーの開催
- [施 策] ●京浜三港と八戸港の連携に関する協定 (平成21年6月)
- 京浜三港と仙台塩釜港の連携に関する協定 (平成23年1月)
- はしけ輸送の拡大
- コンテナ船入港料の一元化
- コンテナ貨物補助制度の実施 (平成23年11月～)
- (コンテナ貨物の新規取扱い、取扱量の増加、海外諸港からの転換等に対する補助)
- [共同ビジョン] ●「京浜港共同ビジョン」公表 (平成22年2月10日)
- [国際戦略港湾] ●「国際コンテナ戦略港湾」に京浜港を選定 (平成22年8月6日)
- [総合計画] ●「京浜港の総合的な計画」公表 (平成23年9月9日)

## 今後の取組

- [施 策] ●三港連携による貨物集荷策の充実化
- [国際戦略港湾] ●「国際コンテナ戦略港湾」計画書に基づく施設・機能の強化
- [総合計画] ●「京浜港の総合的な計画」に基づく各港の港湾計画の改訂

# コンテナターミナルの今後の運営手法



## 1 経過

- 20年 3月 広域連携強化に係る基本合意⇒「将来のポートオーソリティも視野に入れ」
- 22年 2月 京浜港共同ビジョン⇒「実質的な一港化」～法定協議会の設置、会社・公社の連携強化、人事交流等
- 22年 6月 国際コンテナ戦略港湾計画書 22年 8月 国際コンテナ戦略港湾に選定
- 23年 3月 港湾法改正 ～港湾運営会社制度創設～
- 23年 9月 京浜港の総合的な計画 ⇒「京浜港の一体的経営の実現」
- 24年度 港湾運営会社制度の活用を検討⇒25年1月 川崎港コンテナターミナルの今後の運営手法の基本方針決定

## 2 基本方針

- (1) 川崎港コンテナターミナルの運営について、段階的な民営化を図る⇒国際コンテナ戦略港湾として競争力を高めるため、ターミナル運営に、民間のノウハウや活力を導入する
  - ・第一段階: 指定管理者制度の導入⇒ターミナル運営の効率化、サービス向上。京浜港の経営統合に向けて運営ノウハウを蓄積
  - ・第二段階: 港湾法に基づく貸付制度の導入⇒貨物取扱量、経営統合の状況を見ながらその時期を判断
- (2) 既存の出資法人を活用した特例港湾運営会社の指定を目指す⇒公共埠頭運営の公共性、市の港湾政策・産業政策の反映。京浜港の統合会社の設立に向けた協議に参画
- (3) 川崎港の特徴を活かした港湾経営⇒冷凍冷蔵倉庫群の集積、官民をあげたアジアをターゲットとした航路誘致

## 3 スケジュール案

	ケース① 特例港湾運営会社に指定される場合 準拠法：港湾法、地方自治法	ケース② 特例港湾運営会社に指定されない場合 準拠法：地方自治法
平成25年 1月	方針決定	
平成25年 2月	パブリックコメント	
平成25年 4月	民間活用推進委員会、主要出資法人等総合調整会議	
ケースの判断時期		
平成25年 6月	川崎市港湾施設条例及び川崎市港湾施設条例施行規則の改正（指定管理者制度導入）	
平成25年 9月	特例港湾運営会社の指定申請（9/11〆切） 民間活用推進委員会	民間活用推進委員会
平成25年12月	特例港湾運営会社の指定同意 指定管理者指定議案	指定管理者指定議案
平成26年 4月	指定管理者による運営開始	

# 港湾計画の改訂



京浜港の総合的な計画をベースとして平成25年度以降京浜三港が同時改訂



- ・三港同時改訂は我が国初の取り組みであり、三港による調整と連携した対応が不可欠。

- ・臨海部の将来を含めた地域経済の動向を的確に把握し、港湾を取り巻く様々な情勢の変化に対応する。

- ・羽田空港の再拡張・国際化や京浜三港の広域連携強化などの周辺動向を適切に反映させる必要がある。



- 川崎港港湾計画検討委員会
- 川崎港船舶航行安全対策検討委員会

学識経験者、港湾関係者、関係官庁等で構成。  
川崎港港湾計画改訂案について専門的見地から検討。  
パブリックコメントを経て、川崎港港湾審議会へ付議(26年3月予定)。

◇三港同時改訂のスケジュール

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
東京港		●都港審 策定委員会	全3回程度	●都港審 ●パブコメ	●都港審	同時改訂
川崎港		●地港審 策定委員会	全4回程度	●パブコメ ●地港審	●地港審	交通政策審議会
横浜港	●地港審	●地港審 策定委員会	全4回程度	●地港審 ●パブコメ	●地港審	

# 臨港道路東扇島水江町線



## 事業概要

- ・整備箇所：川崎港 東扇島～水江町
- ・整備施設：臨港道路 延長約4.5km
- ・事業期間：H21年度～H29年度供用開始予定
- ・総事業費：約540億円
- ・事業主体：国土交通省 関東地方整備局
- ・道路規格：第4種第1級 往復4車線

## 整備スケジュール(予定)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
調査・設計	■									供用開始予定
施工						■				
用地取得	■	■	■	■						
環境影響評価	■									

- ・平成25年度  
環境影響評価手続き、用地補償、詳細設計業務等を実施予定

## 東扇島内臨港道路の改良

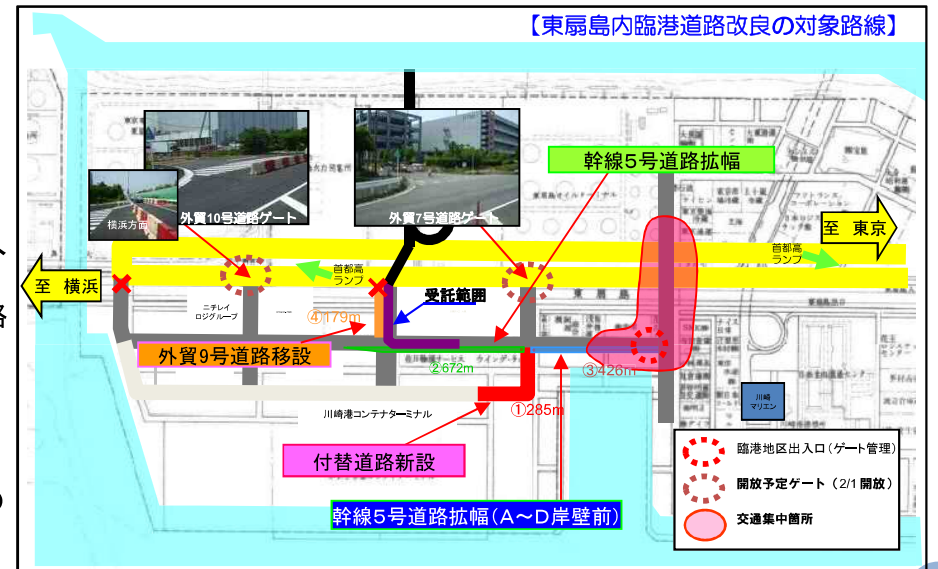
- ・臨港道路東扇島水江町線の整備及び東扇島総合物流拠点地区への企業進出に伴い、コンテナ貨物や交通量増加に対応した円滑な交通動線の確保を図るため、東扇島内臨港道路の改良(既設臨港道路の付替、拡幅等)をいいます。

## 東扇島内臨港道路の渋滞対策

- ・これまで閉鎖していた外貿7号道路・外貿10号道路と国道357号線との出入ゲートについて、関係機関と調整を図り、ゲートを開放(H25.2.1)することで、島内交通を分散し、渋滞解消を図っています。



【東扇島水江町線供用後のイメージ】



# 千鳥町再整備計画

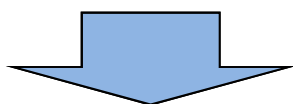


千鳥町地区の公共埠頭は、大部分の施設が建設後40年以上が経過し、施設の老朽化や取扱貨物の変化に伴う埠頭機能の陳腐化により、埠頭の再整備が求められています。

このため、平成18年11月に「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」、平成22年8月に「川崎港千鳥町再整備計画」を策定し、公共埠頭機能の再構築を図っています。

## 施設配置計画にあたっての視点

- (1) 東扇島との機能分担によるバラ貨物拠点の形成
- (2) 荷姿の同じ貨物を集約
- (3) 将来動向への対応



## 整備内容

- ①岸壁の改修
- ②上屋の改良
- ③上屋の撤去
- ④倉庫の再配置・高度化
- ⑤共同事務所等の高度化
- ⑥産業廃棄物処理施設用地の転換
- ⑦鉄道敷の一部撤去・改良
- ⑧ふ頭内道路の改良
- ⑨荷捌地の補修
- ⑩緑地の整備
- ⑪自然エネルギーの活用
- ⑫駐車場等の整備
- ⑬岸壁の耐震化
- ⑭緑地の整備

- ### 現在整備中の事業
- 千鳥町2号及び7号岸壁改修工事
  - 千鳥町道路補修工事
  - 上屋補修工事 等

## 目指すべき施設配置計画





# その他の施設整備事業



⑥海岸保全施設の改良  
津波・高潮の被害を抑えるため、防潮堤等の施設を改良しています。

③千鳥町2号岸壁の改良  
老朽化し機能停止している2号岸壁の大規模改良をしています。

⑧保安システムの維持補修  
改正SOLAS条約に基づく保安水準を維持するための補修をしています。  
⑨維持管理システムの開発  
港湾施設を計画的、効率的に維持管理していくためのシステムを構築します。

⑦油流出防止施設の整備  
海への油流出を防止するための施設を整備しています。

④海底トンネルの改良  
海底トンネルの機能維持のため、老朽化対策や耐震補強をしています。

②臨港道路の改良  
東扇島ふ頭構内の円滑な交通確保のため周辺道路を改良しています。

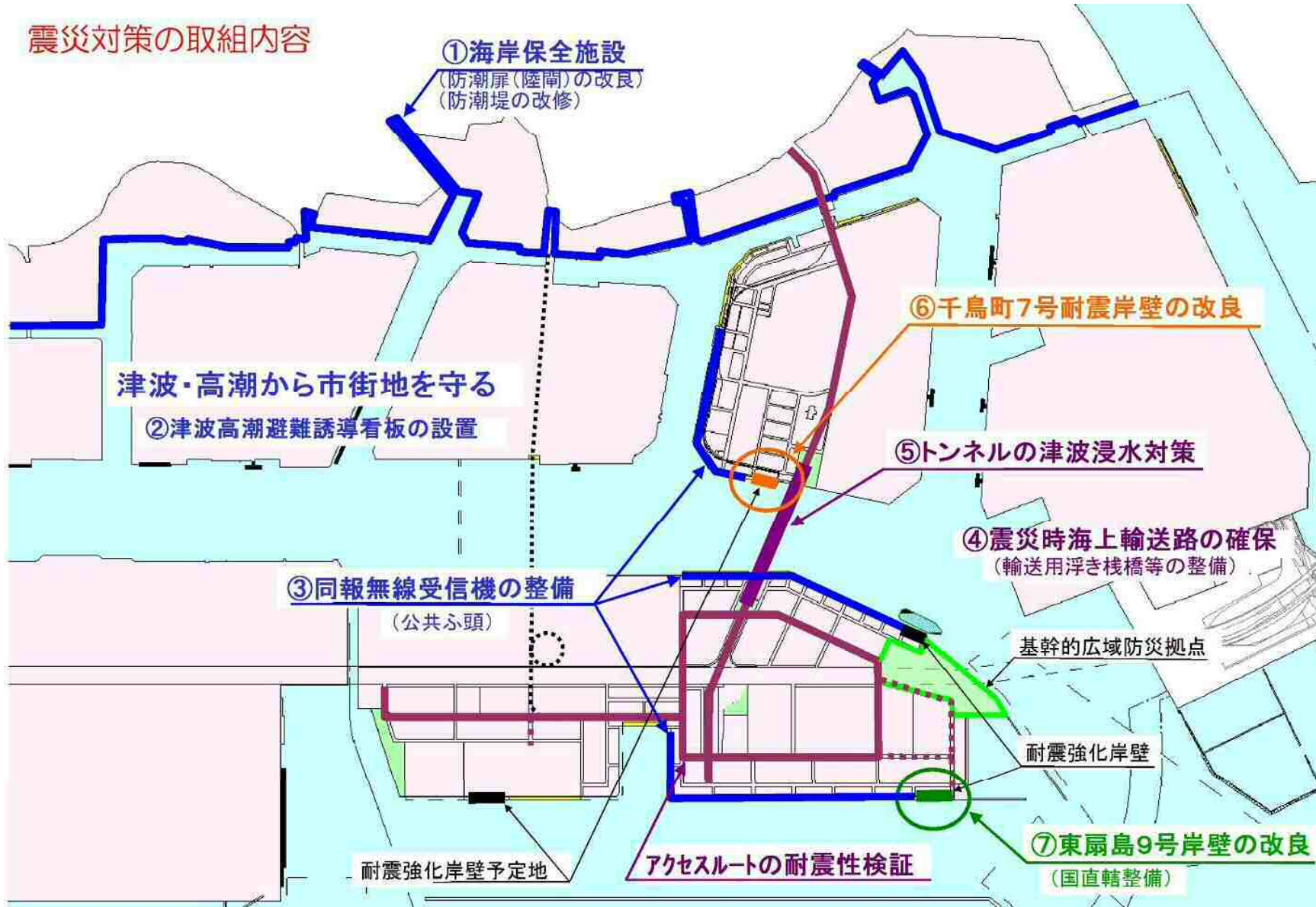
⑤港内の岸壁の改良  
岸壁の機能を維持するための補修をしています。

①廃棄物埋立護岸の整備  
廃棄物の最終処分場や建設発生土の処分場を整備しています。

# 震災への対応



## 震災対策の取組内容



# 基幹的広域防災拠点（東扇島東公園）



全体的規模は約15.8ha。  
 救援物資などの海上輸送、河川舟運、陸上輸送への中継基地。  
 広域支援部隊の一時集結地、ベースキャンプとして機能します。



# 東扇島東公園などの市民利用状況等について



## 1. 東扇島東公園の概要

平成20年4月に開場した東扇島東公園(15.8ha)は、東京ドーム3個を超える広大なスペースを有する川崎市臨海部の潮風と緑の憩いの場として注目を集めています。



## 2. 東扇島東公園の状況

・大盛況の人工海浜



・ゴールデンウィーク中は全て予約済みのバーベキュー場と満車状態の駐車場



夏のロックコンサート(BAYCAMP) テュアスロングラン♪



トライアスロン



春のロックコンサート(StarFes)



バイサイドリレーラン



川崎マリエンテューロ



## 川崎マリエンの利用状況について

### ★川崎マリエンの更なる活用策★

- 市民と港を結び拠点として～  
展望室ジオラマ改修、工場夜景鑑賞、川崎みごと祭り 等の実施
- ビーチスポーツの拠点として～  
ビーチバレー、ビーチテニス等マリンスポーツでの更なる活用
- 川崎港の防災拠点として  
津波対策避難施設としての指定、災害用備蓄の実施



ビーチバレー ロンドンオリンピック  
代表決定戦



マリエントレーニングルーム



## 平成25年度の主な事業及び予算

港湾局

**1 ポートセールス事業**

- (1) 予算額 132,147千円
- (2) 目的 川崎港の利用促進、市民生活の安定化や地域経済の活性化を図るための航路誘致及び貨物集荷活動を行う。
- (3) 概要 川崎港の利用を促進し「国際コンテナ戦略港湾」である京浜港の国際競争力を強化するため、平成24年度に新たに開設した青島・上海・深セン航路を利用する事業者の定着化を図るとともにさらに川崎港に必要な航路を開設するため、国内外の荷主・船会社等に対する積極的なポートセールス活動を展開することによって川崎港への更なる貨物集荷に努める。また、新たに川崎港を利用する荷主・船会社等に対するコンテナ貨物補助制度を平成24年度に引き続き実施する。

**2 港湾計画事業**

- (1) 予算額 74,000千円
- (2) 概要 平成23年度に策定した、京浜3港の港湾計画の基本方針となる「京浜港の総合的な計画」に基づき、臨港地区内等における土地利用や港湾施設の整備方針を計画立案し、適正な港湾空間の形成を図るため、平成25年度末の川崎港港湾審議会への諮問を行い、3港足並みを揃えた港湾計画の改訂を行う。

**3 港湾保安対策事業**

- (1) 予算額 432,861千円  
(うち社会資本整備総合交付金事業：175,625千円)
- (2) 目的 「海上における人命の安全のための国際条約(SOLAS条約)」に基づき、外貿ふ頭の制限区域内における警備や出入り管理等の保安対策を実施し、船舶、貨物への危害行為の防止を図る。
- (3) 概要 ふ頭の出入り管理のための警備業務や保安システムの保守管理を行うとともに、保安システム設備の補修工事等を行う。

#### 4 千鳥町再整備事業

- (1) 予算額 22,981千円
- (2) 目的 平成22年8月に策定した川崎港千鳥町再整備計画に基づき、老朽化した港湾施設の再整備・再配置を行い、公共ふ頭機能の再構築・機能強化を図る。
- (3) 概要 平成25年度は、用地測量、荷さばき地撤去を行う。

#### 5 東扇島コンテナターミナル整備事業

- (1) 予算額 1,315,429千円
- (2) 目的 川崎港コンテナターミナルの機能を良好に維持するために、荷役機械等の諸設備の維持補修等を行う。
- (3) 概要 ガントリークレーン3号機製作工事及びコンテナターミナルの改良・補修工事を行う。また、既存のターミナルの施設を効率的に再配置し、荷役効率の向上並びに集荷力の強化を図る。

#### 6 港湾施設の防災・減災対策

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえ、港湾施設の検証、改良及び耐震補強等を行い、大規模災害時における市民及び港湾施設の安全を確保する。

[概要]

##### (1) 港湾施設の改修

ア 予算額 446,912千円

(うち国庫補助事業：38,100千円、社会資本整備総合交付金事業329,100千円：国直轄事業：42,300千円)

イ 概要 川崎港海底トンネルの劣化部補修及び人道・共同溝の耐震補強を行う。また、大規模災害時の緊急物資受入施設として千鳥町7号岸壁及び東扇島地区ー12m岸壁の耐震強化を行う。

##### (2) 防潮堤の改良

ア 予算額 70,000千円

(うち社会資本整備総合交付金事業：70,000千円)

イ 概要 防潮堤の補修のための設計、陸閘の角落し式から引戸式への改良工事等を実施する。

(3) 海底トンネル受変電建屋の液状化対策検討

ア 予算額 6, 336千円

イ 概要 海底トンネル自家発電機が格納されている建屋を対象とした液状化対策の検討を行う。

(4) 津波高潮避難誘導看板の設置

ア 予算額 30, 000千円

(うち社会資本整備総合交付金事業：30, 000千円)

イ 概要 臨海部に訪れる市民を津波避難ビル等へ誘導するための看板を設置する。

(5) 緊急防災・減災事業

ア 予算額 61, 299千円

イ 概要 臨海部の災害対策を図るため、海底トンネルの津波浸水対策や同報無線の整備等を行う。

## 7 浮島2期廃棄物埋立護岸建設事業

(1) 予算額 2, 890, 156千円

(うち国庫補助事業：2, 400, 000千円、24・25債務負担行為)

(2) 目的 浮島1期埋立事業に引き続き、廃棄物の最終処分場を確保するため、2期事業として廃棄物埋立護岸の築造等を行う。

(3) 概要 (全体計画)

- ・面積 73ha
- ・埋立処分量 18, 600千m<sup>3</sup>
- ・護岸延長 外周護岸 2, 403m

平成25年度は、24年度に発注したB・C護岸のケーソン30函の据付、裏込工事等を行う。

## 8 臨港道路東扇島水江町線整備事業

(1) 臨港道路東扇島水江町線直轄工事負担金

ア 予算額 865, 000千円

イ 目的 京浜港における外貨コンテナ輸送の増加、東扇島地区の物流機能高度化等に伴う港湾関連車両の交通量増加、災害時における緊急物資輸送路や避難路の代替機能確保等に対応するため、

東扇島と水江町線を結ぶ臨港道路を国直轄事業として整備推進する。

ウ 概要 (全体計画)

- ・事業期間 平成21年度～平成28年度
- ・総事業費 約540億円
- ・総延長 約3.1km
- ・車線数 4車線

平成25年度は、環境影響評価手続、設計、用地補償等を行う。

(2) 臨港道路東扇島水江町線整備受託事業

ア 予算額 110,650千円

イ 目的 国直轄事業により整備する東扇島水江町線の一部区間を国から受託し、市が整備する東扇島臨港道路と一体的に整備を行う。

ウ 概要 平成25年度は、受託区間の調査、設計等を行う。

(3) 東扇島臨港道路の整備等

ア 予算額 210,347千円

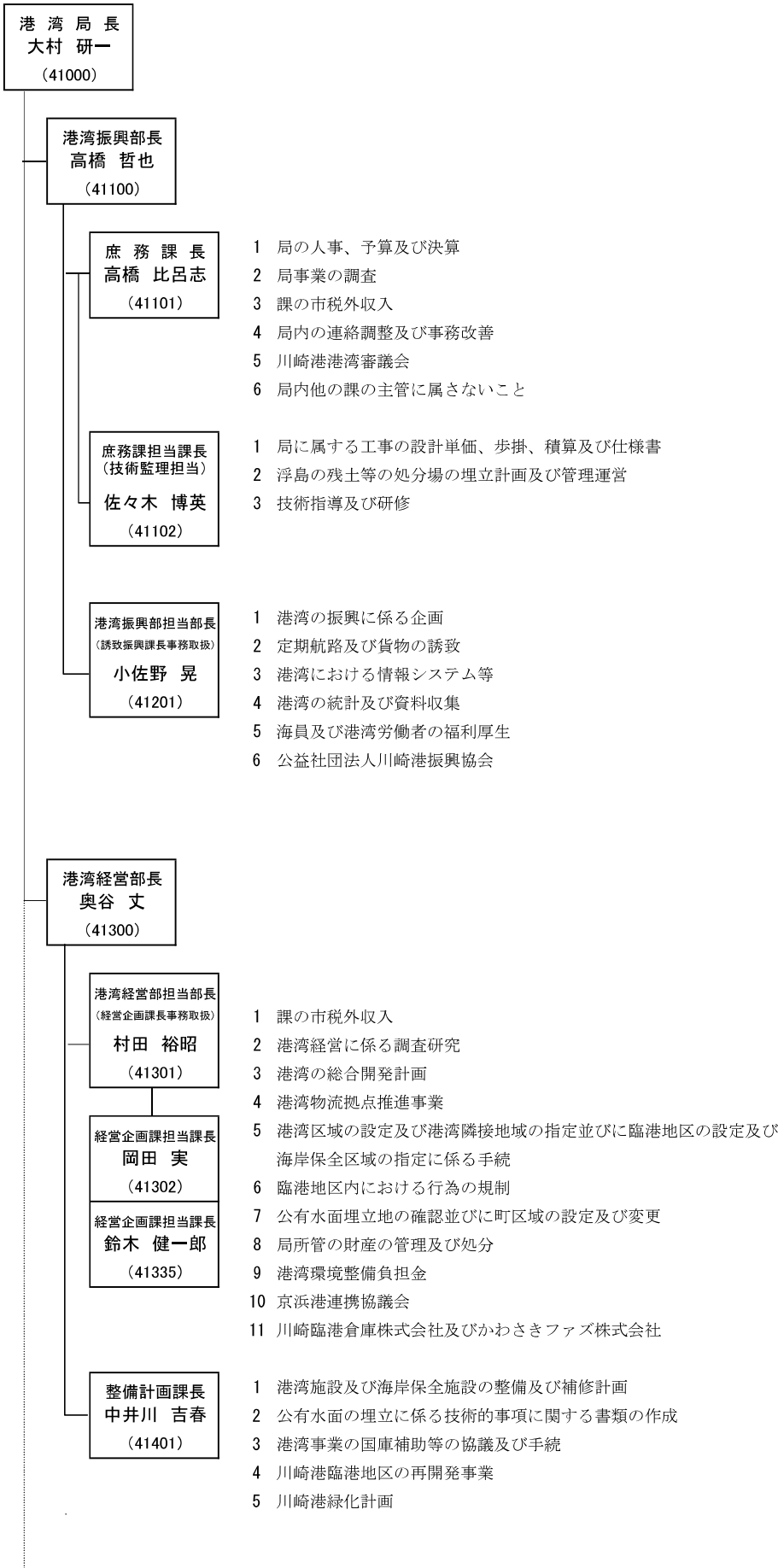
(うち社会資本整備総合交付金事業：192,000千円)

イ 目的 東扇島総合物流拠点地区への物流関連企業の進出に伴う港湾関連車両の交通量増加に対し、円滑かつ効率的な交通機能を確保するため、臨港道路の改良等を行う。

ウ 概要 平成25年度は、臨港道路の付替工事等を行う。

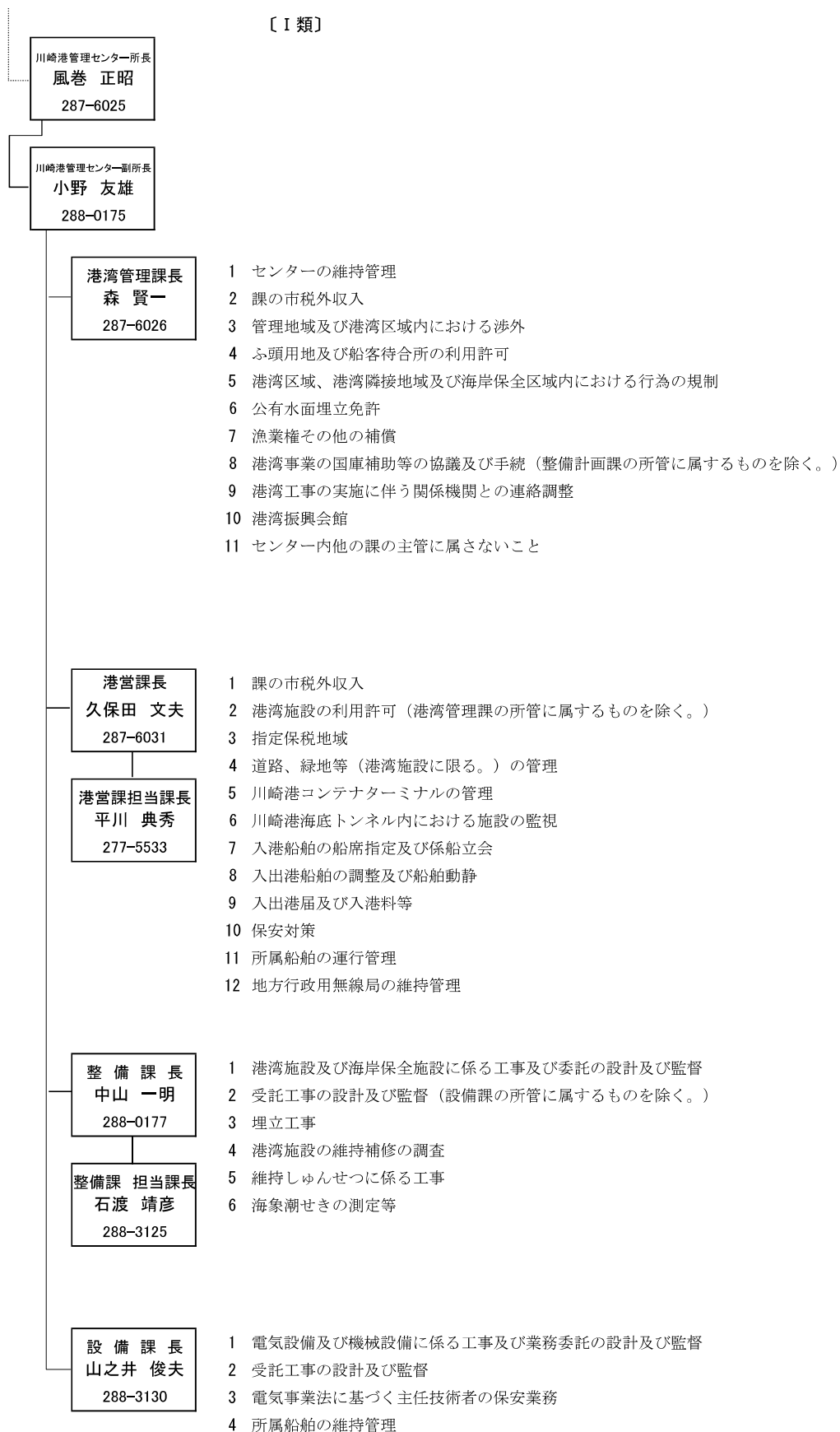


# 港湾局組織図（平成25年4月1日現在）



# 港湾局組織図（平成25年4月1日現在）

〔I類〕



## 港湾局理事者名簿

平成25年4月1日現在

No	役 職 名	氏 名	ふ り が な
1	港湾局長	大 村 研 一	おおむら けんいち
2	港湾振興部長	高 橋 哲 也	たかはし てつや
3	港湾経営部長	奥 谷 丈	おくたに たけし
4	港湾振興部担当部長 (誘致振興課長事務取扱)	小 佐 野 晃	こさの あきら
5	港湾経営部担当部長 (経営企画課長事務取扱)	村 田 裕 昭	むらた ひろあき
6	川崎港管理センター所長	風 卷 正 昭	かざまき まさあき
7	川崎港管理センター副所長	小 野 友 雄	おの ともお
8	港湾振興部 庶務課長	高 橋 比 呂 志	たかはし ひろし
9	港湾振興部 庶務課 担当課長 (技術監理担当)	佐々木 博英	ささき ひろひで
10	港湾経営部 経営企画課 担当課長	岡 田 実	おかだ みのる
11	港湾経営部 経営企画課 担当課長	鈴木 健一郎	すずき けんいちろう
12	港湾経営部 整備計画課長	中井川 吉春	なかいがわ よしはる
13	川崎港管理センター 港湾管理課長	森 賢 一	もり けんいち
14	川崎港管理センター 港営課長	久保田 文夫	くぼた ふみお
15	川崎港管理センター 港営課 担当課長	平 川 典 秀	ひらかわ のりひで
16	川崎港管理センター 整備課長	中 山 一 明	なかやま かずあき
17	川崎港管理センター 整備課 担当課長	石 渡 靖 彦	いしわた やすひこ
18	川崎港管理センター 設備課長	山之井 俊夫	やまのい としお

※網掛けになっている者が今回出席している理事者です。

### 議会担当者

	港湾振興部	庶務課庶務係長	峰 岸 哲 也	みねぎし てつや
	港湾振興部	庶務課庶務係主任	小 澤 篤 史	おざわ あつし
	港湾振興部	庶務課庶務係	渡 邊 泰 晴	わたなべ やすはる